

当院に通院中、または入院中の患者さんへ

からだやこころの『つらさ』について
何か**お困りのこと**がございましたら
お近くの当院職員に**ご相談**ください

お話を伺った上で「適切と思われる対応部門」をご紹介しますいただきます

例えば…

◇サポーターケアチーム

- ・多くの専門職種（医師、看護師、薬剤師、臨床心理士、リハビリテーション専門職種、ソーシャルワーカー、管理栄養士 など）が「今できること」を一緒に考えます

◇対象：当院に通院中、または入院中の患者さん（※**主治医の同意**が必要です）

◎「病気の種類」や「治療の状況」などに関係なく、「病気と診断された時」から「人生の最終段階」まで、患者さんが抱える様々な「つらさ」を軽くするお手伝いをします

◆「つらさ」を軽くするために「患者さんが『ご自身で』できる方法」の一つとして、「正しい（科学的根拠のある）情報の収集」があるのですが、「見たり、聞いたりしたことはあるんだけど、よく覚えていないなあ…」という方もおられるかもしれませんので、ここで「そもそも『治療』って何だったっけ？」を確認しておきましょう

- ・「**治療**」には「『**病気**』の**治療**」と「『**症状**』の**治療**」があります

【**病気の治療**】：手術療法・放射線療法・薬物療法 など

【**症状の治療**】：上記に加え、看護ケア、リハビリテーション、環境調整 など

- ・「病気の治療」が「症状の治療」を兼ねる場合もありますが（例：高度の炎症がある虫垂を切除する → 強い腹痛がなくなる）、そうでない場合でも「病気の治療」と「症状の治療」は同時に行なうことができます（例：手術療法＋鎮痛薬の使用 など）
- ・病院を受診される患者さんが医療関係者と一緒に目指すのは「『病気の治療を行なう』 → 『病気がなくなる（軽くなる）』 → 『寿命が延びる』 → 『生活の質が上がる』」で、実際に「そうなる」場合が多いのですが、残念ながら、体の具合によっては副作用などで「そうならない（病気の治療ができなくなる）」場合があることも事実です
- ・ただ、今は様々な医療やケアが進歩していますので、「『病気の治療ができなくなる』 → 『苦しくなってすぐ寿命が尽きる』」ということはありませんのでご安心ください
- ・「病気の種類や状態によっては『病気の治療』よりも『症状の治療』を優先した方が寿命が延びて生活の質も上がる」という研究結果も報告されています（2010年）
- ・お気づきでない方が多いのですが、「『生活の質が上がった』と感じる基準」は人によって大きく異なりますので、「その治療をすることが自分の生活の質を上げることにつながるのか」についてご家族や医療関係者とよく話し合うことをお勧めします